

ドロップ・サイト・デイリー、4月8日：散発的な攻撃が続く中、イランとの停戦が発表される；イスラエルが「最大規模の共同攻撃」でレバノンを爆撃；ウィスコンシン州最高裁で民主党が過半数を拡大

脇浜義明訳 *脚注は訳注

停戦発表

*トランプ大統領、イランとの2週間停戦を発表：トランプ大統領は4月7日午後6時30分頃（米国東部時間）、イランへの攻撃を2週間停止すると発表した。これは「双方の停戦」と表現し、停戦の条件として「ホルムズ海峡の完全かつ即時、そして安全な開放」を求めた。彼は、米国は「すべて軍事目標を達成し、それ以上を成し遂げた」と言って、イランが提示した10項目提案はより広範な合意に向けた「実行可能な基盤」になり得ると言った¹。また、トランプは、両国が長期的平和に向けた「最終合意に向けて、かなり進展している」と述べ、今回の2週間の停戦期間は、より広範な合意を「最終決定し、実現させる」ためのものだと言った。彼は4月7日を「世界平和にとって大きな日」と表現した。アクシオスによると、停戦は午後8時22分（米国東部時間）に発効した。

・トランプが交渉の基盤として受け入れたと称するイランの10項目提案は、イランと地域の同盟グループに対する攻撃の完全停止、地域に展開する米軍戦闘部隊の撤退と湾岸諸国の基地からの攻撃の禁止、イランの規制下でホルムズ海峡の限定的通過、すべての一次制裁、二次制裁、国連制裁の解除、投資・金融基金を通じた戦争損害補償、イランは核兵器開発をしないが、イランの核平和利用のためのウラン濃縮権利を米国が認めること、イランと地域諸国との二国間または多国間平和条約交渉を妨害しないこと、すべての抵抗勢力を攻撃しない保証の延長、イランに関するすべての国際原子力機関理事会や国連安保理の決定を取り消し、そして以上のことを国連の公式決議で正式に文書化されることを求めている。

・イランの最高安全保障会議（イランの最高意思決定機関）は4月8日、4月10日金曜日にイスラマバードで、「米国への完全な不信任」を前提にして、協議を行うと発表した。協議期間は2週間で、イランの10項目要求を詰めて、国連の安保理の拘束力がある決議に持ち込むつもりである。イラン安全保障会議は安保理決議で合意が「国際法上の拘束力を持つ」と考えている。

・AP通信によると、米発表停戦案は、イランとオマーンがホルムズ海峡を通過する船舶に通行料金を課すことを認めており、イランはそれを戦禍復興の資金にする意向である。オマーンは料金徴収プログラムへの参加をまだ表明していない。

・トランプは「米国はホルムズ海峡の渋滞緩和を支援する」と言ったが、具体的役割については何も言っていない（報道された停戦合意文書には、ホルムズ海峡に関する米国の活動に関する記述はない）。「多くの前向きの行動がとられるだろう。巨額の利益がもたらされる。イランは復興プロセスを開始できる」と、トランプは付言した。

・最初の停戦発表はパキスタンと話し合った後で行われた。パキスタンのシャバーズ・シャリフ首相が4月7日に、トランプが設定した最後通牒の期限を2週間延長するようにトランプに求め、イランには「善意」の表明としてホルムズ海峡を2週間開放するように求めている。

・その後、イスラエルがイランとの停戦に参加すると発表した。ネタニヤフ首相府は「2週間の停戦にはレバノンは含まない」という声明を出した。これに対し、パキスタンのシャリフ首相は、イラン、イスラエル、米国間の停戦は「レバノンを含むあらゆる地域に及び、即時発効する」と発表した。AP通信は、イスラエル軍関係者の話として、イスラエルは停戦発表後もイランへの攻撃を続けたと報じた。アラブ首長国連邦とバーレーンでも、イランによるドローン攻撃があったと報道されている。

¹ 10項目提案は、米軍の中東からの基地を含む全面的撤退要求や賠償金補償要求などを取り下げる変化をし、現在は、1. イラン攻撃をしない保証、2. 恒久的戦争終結、3. イスラエルのレバノン攻撃終結、4. イランへの制裁解除、5. イランと同盟する地域グループへの攻撃終結、6. その見返りにイランはホルムズ海峡を開放する、7. イランとオマーンがホルムズ海峡安全通行規則を設定する、8. 1隻当たり200万ドルの手数料を徴収、9. 手数料はイランとオマーンが分割、10. イランは、賠償を求めない代わりに、手数料を再建に使用する、となっている。

・カタイブ・ヒズボラやハラカト・アンヌジャバを含むイランと繋がったシーア派民兵組織であるイラク・イスラム抵抗運動 (IRI)は広範な人民動員部隊ネットワークとして活動しているが、4月7日夜に独自の停戦を発表した。

・パキスタンのシャリフ首相は4月8日に、イランのマソウド・ペゼシュキアン大統領と「暖かく実質的な」会談を行ったと述べ、「大統領は、イランが今後の交渉に参加すること再確認した」と語った。

・トランプ大統領は4月8日、イランに兵器を売る国には高い関税を課すと脅し、自分の Truth Social に「イランの兵器を売る国に対しては、米国で販売するあらゆる商品に、直ちに50%の関税を課す。例外や免除はない」と投稿した。

停戦にもかかわらず攻撃継続

*PRESS TVによると、数時間前に2週間停戦合意が発表されたにもかかわらず、ラバン島が4月8日午前10時ごろ(現地時間)が攻撃され、消防隊員が消火活動を行っている。

*AP通信によると、クウェートは、停戦合意にもかかわらず、石油・発電所を標的にした「大規模な」ドローン攻撃を迎撃したと発表した。

*バーレーンもドローン攻撃を報告した。

イランへの戦争

***米・イスラエル軍機が主要アルミニウム・石油化学施設を攻撃**：米・イスラエル軍機は、停戦発表前の4月7日夜、イランの主要工業施設2か所を攻撃した。イラン最大級のアルミニウム生産施設であるアラク・アルミニウム工場と、イランの主要石油化学ハブであるフーズスターン州のマフシャルにあるファジル石油化学複合施設である。

***ロシアと中国、ホルムズ海峡に関する安保理決議案に拒否権発動**：国連安全保障理事会は4月7日、ホルムズ海峡の国際航行の安全確保のために「あらゆる防衛手段」の使用を承認する決議案を審議したが、ロシアと中国の拒否権行使で否決された。複数の提案国は、幅広い支持を得ようとして、攻撃的な軍事行使を認める第7章の文言を決議案から削除していたが、ロシアと中国は、決議案が「地域情勢の根底にあるダイナミクス」に目を向けていないと主張し、防衛的な性格であっても事態のエスカレーションを招く恐れがあると指摘した。

***ミサイルの破片がカタールの住宅に落下**：カタール内務省によると、4月7日、迎撃されたイランのミサイルの破片がカタールのマリク地区の住宅に落下して、子どもを含む4人が負傷した。被害は軽微で。負傷者は病院へ搬送された。

***イランの攻撃で、バーレーンの施設が火災**：バーレーン内務省は4月8日朝、名前を伏せた施設がイラン攻撃の後火災となったと発表した。民間防衛隊が消火活動を行い。負傷者の報告はない。この攻撃は停戦合意が発表されてから数時間後に発生した。米政府はアクシオスに対し、停戦合意の情報がイスラム革命防衛隊の下級兵士にまだ伝わっていなかったために生じた攻撃だろうと説明した。

***UAE、アブダビで375人を逮捕**：AP通信によると、アラブ首長国連邦の当局は、イラン戦争開始以降、首都アブダビで375人を逮捕した。アブダビ警察によると、逮捕された人々は様々な国籍で、撮影した映像や「虚偽情報の拡散」をSNSで流した容疑で逮捕された。彼らは「社会を守る」ことを目的としたUAEの法律の違反容疑で検察に送致された。

***トランプのイラン戦争決断はイスラエルの秘密工作によるもの**：ニューヨークタイムズ紙の4月7日の記事によると、トランプ大統領2月11日にホワイトハウスの地下の危機管理室 (situation room) で開かれた会合の後で、イラン攻撃を決断し、承認した。この会合にはイスラエルのネタニヤフ首相がモサド長官のダビド・バルネアや軍高官と同席し、イランを元パフラヴィー王朝イランの皇太子レザー・パフラヴィーのような人物の映像モニターを見せ、イランの政権交代の4つの案を提示した。ネタニヤフは、イランの弾道ミサイル。プログラムは数週間で破壊でき、イラン政権は弱体化し、ホルムズ海峡封鎖をできなくなり、モサドが街頭デモを扇動し、イラクからクルド武装団を潜入させて連携させ、反乱を引き起こすことができると主張した。トランプは即座に「いい考えだ」と答えたという。ヴァンス副大統領はアゼルバイジャンにいて、会合にはいなかった。翌日、米情報機関は猛烈に反対した。CIAのジョン・ラトクリフ長官はイラン政権転覆シナリオを「茶番劇」と呼び、マルコ・ルビオ国務長官は「出鱈目だ」と一蹴し、ダン・ケイン参謀総長は、

イスラエルは「必ずしも十分の計画を練らずに、誇張する」傾向があると大統領に進言したと、NYタイムズが伝えている。ピート・ヘグセス国防長官は、即時行動を最も強く主張した²。

レバノン

***イスラエル、レバノンへ「最大規模の組織的攻撃」を実施：**イスラエルは4月8日午後、大規模空爆をレバノンに対して行い、10分間で100以上の標的を攻撃した。イスラエル軍は、一月以上前から開始したレバノン軍事作戦で「レバノン全土で行った最大規模の一斉射撃的攻撃」と発表した。ベイルート、ベッカー高原、南レバノンが標的にされた。ベイルートから発信された映像や写真には、市内各地で巨大な黒煙が高く立ち昇る光景があった。レバノンのラカン・ナセルディン保健相はアル・ジャジーラに対し、「病院は殉教者と負傷者で溢れかえっている」と語り、ドロップ・サイトへの寄稿者リラ・ユネスは「救急車がひっきりなしに走り、人々が叫び声をあげている。戦闘機がまだ上空を舞っている。それが今のベイルートの光景だ」と述べた³。

***イスラエル、レバノン攻撃続行を宣言：**イスラエル軍は4月8日、「ヒズボラを標的に地上作戦を続けている」と発表した。ネタニヤフ首相は先に、イスラエルは米・イランの停戦合意を尊重するが、レバノン戦争は継続すると宣言していた。イスラエル軍は4月8日、サフрани川以南の全住民に北部へ避難せよと言う命令をまた出した。イスラエルはレバノンは停戦合意に含まれていないと主張しているが、パキスタン、フランス、エジプトはレバノンが停戦合意に含まれていると言っている。

***イスラエルの攻撃継続：**

・アル・ジャジーラによると、大規模一斉射撃的攻撃の前にも、4月8日早朝、イスラエルは南レバノンのサイダの町への攻撃で8人を殺害22人を負傷させた。また、チャクラの医療センターへの攻撃で数人の救急隊員が死亡した。アル・マヤデーオン紙によると、南レバノンのアル・カリラの町では、イスラエルが救急車を攻撃し、救急隊員4人が死亡した。

・停戦発表から30分後、ヒアムの町の近くのシュトラス村が空爆された。ヒアムも砲撃された。その前に、ティルス市内の病院付近と、ベッカー高原のラシュカルでそれぞれ空爆があったと報告されている。ラシュカルでは、以前にイスラエルがリタニ川の2つの橋を破壊していた。

・AP通信によると、停戦発表後、南レバノンのティルス地区のスリファで、住民が夜に帰宅したところ、その民家をイスラエル軍が空爆し、女性や子どもを含む家族9人が死亡した。他の4人が負傷した。また、ロリアン・トゥディ（オリエント・トゥディ）とクッズ・ニュースによると、イスラエル軍がカシミエ道路をドローン攻撃し、シリア人配達人を含む2人が死亡、他に救急車にも攻撃した。

ガザ・ジェノサイド、西岸地区、イスラエル

***死傷者数：**過去24時間で、イスラエルが支援するパレスチナ人暴力団がアル・マガジ難民キャンプを攻撃したときに負傷したパレスチナ人3人が死亡し、その他イスラエルの攻撃で3人が負傷した。これで、2023年10月7日以降の死者は72,315人、負傷者は172,137人となった。ガザのパレスチナ保健省によると、いわゆる停戦初日である10月11日以降、イスラエルの停戦違反の攻撃で少なくとも736人のパレスチナ人が死亡し、2,035人が負傷した。また、瓦礫の下から回収された遺体は759体である。

***イスラエルが支援するガザの民兵グループがアル・マガジ難民キャンプを襲撃し、少なくとも10人を殺害した：**イスラエルがカネと武器を供給して支援するガザの民兵集団が4月6日、ガザ回廊中部のアル・マガジ難民キャンプ東部を、イスラエル軍の空爆の援助を受けて襲撃し、少なくとも10人のパレスチナ人を殺害し、数十人に負傷を負わせた。目撃者がドロップ・サイトに語ったところによると、アブ・ナシラ民兵（「自由祖国軍」と自称し、元パレスチナ自治政府の治安部

² 彼は軍需関連産業へ投資信託をしようとしていた。

³ 知人のフェイスブックによると、250回以上の連続空爆で、たった10分間に死者254人、負傷者1165人以上を出した、黙示録のような1日だったという。

隊士官のシャウキ・アブ・ナシラが率いる)の戦闘員がキャンプに侵入し、家屋や家屋の中にいた子どもたちに向けて発砲したという。住民が抵抗すると、イスラエル軍はミサイルとクアッドコプターを使って爆弾投下で攻撃した。「負傷者を救おうと近づくと、イスラエル軍機から狙い撃ちされた」と、ある住民はドロップ・サイトのジャーナリストのモハンメド・アハメドに語った。(Mohammed Ahmed, Jawa Ahmed, Sharif Kouddous, ["Israeli-Backed Militia Launches Deadly Attack on Gaza Refugee Camp Under Cover of Airstrikes"](#), Drop Site News, April 6, 2026)

***国際子ども防衛機構 (Defense for Children International- Palestine)が35年間の活動に終止符：**イスラエル軍に拘留されているパレスチナの子どもたちの処遇を国連安保理に報告してきた国際子ども防衛機関が4月7日、35年のキャリアの終止符を打ったと発表した。「イスラエルがパレスチナ人権団体を犯罪団体扱いして攻撃する難題を克服できなかった」と言っている。彼らは、イスラエル軍の拘留施設における独房監禁、自白強要、拷問を記録し、イスラエル軍法廷でパレスチナ人子どもを無料で法的弁護をし、イスラエル兵と入植者による殺害、負傷、虐待を独自に調査してきた。今回の閉鎖はイスラエルの圧力によるものだ。イスラエルは国際子ども防衛機構を「テロ組織」に指定し、2022年8月にはその本部を襲撃し、扉を溶接して閉鎖した。2025年12月31日現在で、イスラエル刑務所の収容されているパレスチナ人児童は351人で、そのうち51%は何の理由もない行政拘留である。これは過去最高の割合である。

米国ニュース

***連邦議会議員と全米黒人地域工場協会 (NAACP)、憲法修正第25条⁴の発動を要求：**トランプ大統領がイランに関して「一つの文明を滅ぼす」と脅迫したことにに関して、初め、80人以上の連邦議会議員が大統領罷免要求に賛同した。第25修正条項の発動を求める第2波の運動に名を連ねた議員は、サマー・リー下院議員 (ペンシルベニア州民主党)、アレクサンドリア・オカシオ・コルテス下院議員 (ニューヨーク州民主党)、デリア・ラミレス下院議員 (イリノイ州民主党)、セス・モールトン下院議員 (マサチューセッツ州民主党)、ロー・カンナ下院議員 (カリフォルニア州民主党)、マックスウェル・フロスト下院議員 (フロリダ州民主党)、アヤナ・プレスリー下院議員 (マサチューセッツ州民主党)、サラ・ジェイコブス下院議員 (カリフォルニア州民主党)、スティーブ・コーエン下院議員 (テネシー州民主党)、エリック・スウォルウェル下院議員 (カリフォルニア州民主党)、マーク・ポカン下院議員 (ウィスコンシン州民主党)、リッチー・トーレス下院議員 (ニューヨーク州民主党)、ナンシー・ペロシ下院議長 (コネチカット州民主党)、クリス・マーフィー上院議員 (コネチカット州民主党)らである。全米黒人地位向上協会もトランプ大統領の罷免を要求した。同協会が憲法修正第25条の発動を求めたのはこれが初めてであると、協会自身が言っている。協会のデリック・ジョンソン CEO は「大統領は不適格であり、病んでおり、精神的に不安定だ」と言った。

***リベラル派のクリス・ティラーがウィスコンシン州最高裁判事に当選し、リベラル多数派が5対2に拡大した：**州控訴裁判所判事で元民主党州議会議員のクリス・ティラーが4月7日、ウィスコンシン州最高裁判事に20ポイント以上の大差で勝利したと、NBCニュースが報じた。これで、同州の最高裁でリベラル派が5対2で多数派となり、保守派は少なくとも2030年までは最高裁で多数派になることはできなくなった。ティラーは州民主党の支援を受け、資金面でも対立候補の保守派のマリア・ラザールを圧倒的に上回り、中絶の権利と公平な投票権を公約の中心に掲げて選挙運動を行った。州最高裁判事で多数派となった民主党は、現在共和党が6対2で支配しているウィスコンシン州議会の選挙区割りや裁判で争うことや、公的部門の団体交渉権の制限など保守的州法を変革する可能性を得た。

***共和党のクレイ・フラーがジョージア州特別選挙で勝利：**ジョージア州第14下院選挙区の特別選挙決選投票で、クレイ・フラー地方検事が勝利した。これは、トランプ大統領と決裂したマージョリー・ティラー・グリーンが空席にした下院議席を争う選挙で、フラー地方検事がショーン・ハリス退役陸軍大將を破ったとAP通信が報じた。トランプ大統領の支持を得たフラーは、グリーンが残した任期を務め、11月の予備選挙と本選挙で勝利すれば、2年間の任期を獲得する。

***ICE 捜査官、カリフォルニア州田舎町で車両を停止させて男性を撃った：**移民税関捜査局 (ICE)の捜査官は4月7日、カリフォルニア州スタニスラウス郡の農業が盛んな田舎町パターンソンで、停止車両の中にいたカルロス・イバン・メン

⁴ 大統領や副大統領の職務不能への対処手続きを定めた条項。

ドーサ・ヘルナンデスを撃った。ICEのトッド・ライオンズ長官は、ヘルナンデスが捜査官を轢こうとしたために、捜査官が発砲したと言った。KCRA-TVが入手したドライブ・レコーダーの映像には、黒いセダンが2台の車に挟まれた後、バックし、銃を構えた捜査官に向かって前進する様子が映っていた。しかし、この映像には音声がなく、FBIは事件を捜査している。ヘルナンデスは病状不明のまま入院している。ICEは、ヘルナンデスをロサンゼルス18番街ギャングのメンバーで、エルサルバドルで殺人事件に関与した疑いで事情聴取すると発表した。その主張を裏付ける証拠を何一つ提示していない。これで、2026年にICE捜査官が関係した銃撃事件は、少なくとも8件となった。

*下院フリーダム・コーカス⁵は指導部と訣別、予算調整法案で国土安全保障省への全額予算を要求：下院のフリーダム・コーカスは4月7日、マイク・ジョンソン下院議長の国土安全保障省への予算配分に関する2段階案を拒否し、ICEと税関・国境警備局を含む国土安全保障省全体に、共和党の身による予算調整法案で全額予算を計上し、省内の各機関を分離して予算執行するやり方を否定した。ジョンソン下院議長の案は、上院多数党院内総務のジョン・トゥーン議員とトランプ大統領の支持を得ている。この案では、超党派の上院法案で国土安全保障省の、ICEと税関・国境警備局の予算を除く大部分の予算を通し、移民取り締まり部門の予算は別途、民主党の議事妨害を回避するために予算調整法を利用するというものである。フリーダム・コーカスは、そんなやり方は「希望と祈り」に頼るに等しいと批判した。「国土安全保障省の予算を完全に確保するためには、断固として予算調整法を利用しなければならない」と、コーカスはSNSに投稿した。

*中道左派シンクタンクの理事にAI関連の金融関係者数人：昨年秋に民主党を中道へ導くために設立されたワシントンのシンクタンク、サーチライト・インスティテュートは、その理事に慈善家のシモーヌ・コックス（彼女の数十億ドルの資産は主にベンチャー資本家である夫テンチ・コックスのNVIDIAへの投資から派生）や、億万長者のヘッジファンド・マネージャーのステイブ・マンデル（彼の会社ローン・パイン・キャピタルはNVIDIA最大の半導体製造会社である台湾積体回路製造（TSMC）に多額の投資をしている）が含まれているが、そのことを公表していないと、ザ・レヴューが4月7日に報じた。このシンクタンクは、バーニー・サンダース上院議員とアレクサンドリア・オカシオ・コルテス下院議員が提案したデータ・センター建設停止法案に強く反対し、AI規制を穏やかにすることを主張する白書を発表している。

その他の国際ニュース

*米国ジャーナリストのシェリー・キトルソン、バグダッドで解放：アル・モニターが関係者2人から取材したことによれば、イランの支援を受けるイラクのシーア派民兵組織カタイブ・ヒズボラに1週間以上拘束されていた米国人ジャーナリストのシェリー・キトルソン（49歳）が4月7日に解放された。彼女は3月31日にバグダッドでカタイブ・ヒズボラに拉致されていた。同組織は「直ちに国外退去することを条件に」キトルソンを解放するとテレグラムで発表した。その理由としてイラクの暫定首相モハンメド・シア・アッスーダニの「愛国的姿勢」を評価したことを挙げた。米国政府もイラク政府も、キトルソンの解放を確認していない。

*イラクのバスラでクウェート領事館に抗議デモ：ロイター通信はイラク治安当局と保健当局の話として、4月7日、クウェート方面から発射されたロケット弾がホル・アズバイルの住宅に着弾し、少なくとも3人が死亡し、5人が負傷したことを受け、抗議デモ隊がイラクのバスラにあるクウェート領事館に押し寄せたと報じた。

*イスタンブールのイスラエル領事館付近で銃撃戦、1人死亡：トルコ警察は4月7日、イスタンブールのベシクタシュ地区にあるイスラエル領事館が入っている建物付近で銃撃あったが、銃撃者1人が死亡、2人が負傷し、事件が「鎮静化」したと発表した。人口密集する商業地区で起きた事件で、警察官2人が負傷した。イスラエルとトルコは事件をテロ攻撃と非難した。

*インドのマニプール州で4人死亡：ロイター通信によれば、4月7日、インド北東部のマニプール州で少なくとも4人が死亡し、2023年5月よりの民族紛争が収まって数か月続いていた比較的平穏な状態が終わった。メイティ族が多数を占めるビシュヌプール地区の民家で爆弾が爆発し、ヒンズー教徒メイティ族の子ども2人が死亡した。メイティ族はこれをクキ族の仕業だと主張しているが、クキ族は否定している。州の内務大臣によると、7日午後、治安部隊のキャンプに

⁵ 保守のリバタリアン的な共和党下院議員連盟。

群衆が押し入り、警察が発砲して、さらに2人が死亡した。当局は州都インパールとその周辺に外出禁止令を発令し、インターネット・サービスを5日間停止した。

***アフガニスタン、中国仲介のパキスタンとの和平協議を「有益」と評価：**アフガニスタン外務省は4月8日、中国西部ウルムチ市で行われているパキスタンとの和平協議を「有益」と評価した。パキスタンとアフガニスタンの中級レベルの代表団が、中国の招待で、4月1日からウルムチで会合を開いている。国連人道問題調整事務所によると、この紛争で9万4000人の避難民が発生している。

***リビア人実業家、ハフタル将軍のトリポリ攻勢とスーダンへの武器供給に資金提供：**ザ・セントリーの新たな調査で、リビアの実業家アハメド・ガダラが、2019～2020年のハリファ・ハフタルの失敗に終わったトリポリ政権攻撃の資金として、アブダビに拠点を置く銀行から3億ドルの融資を獲得するのを援助したことが分かった。ハフタルの軍が撃退された後、融資の大部分は返済されず、リビア国民がその負担を負うことになった。ガダラはその後、リビア東部の銀行システムへ影響力を拡大し、国連の禁輸措置に違反してスーダンへの武器輸送に関与している。ハフタル将軍とガダラの関係はアル・ジャジーラの2026年4月7日の記事 [“Libyan financier enabled \\$300m in loans for Haftar’s Tripoli offensive”](#) を読みたい。

***リビアで極秘で活動するウクライナ軍、3月にロシアのタンカーをドローン攻撃：**AP通信によると、ウクライナ政府とアブドル・ハミド・ドベイバ首相率いるリビア政府の間の合意に基づき、リビアの首都トリポリ、沿岸都市ミスラータ、及びサフィアの軍事施設に、ウクライナのドローン操縦士隊が秘密裏に配備されている。この合意は米国を含む複数の西側諸国によって支持されている。AP通信はまた、ウクライナの作業員がトリポリから、ロシア船籍の液化天然ガス（LNG）タンカー「アークティック・メタガス」に海上ドローン攻撃を行ったと報じた。タンカーは大きな損傷を受け、地中海沿岸を漂流し続けている。

***カメルーン、自国民16人がウクライナでロシアのために戦死したことを確認：**カメルーン外務省は4月6日、ロシアのウクライナ侵攻にいわゆる「軍事請負員」として従軍したカメルーン人16人が戦死したことを確認した。西アフリカの国が自国民がウクライナ戦争に関与したことを公けに認めた最初の事例である。この発表は、カメルーン国防相が2025年3月に、ウクライナ戦争に参加するために何人かの兵士が部隊を離れているという懸念から、指揮官に部隊を監視せよと指示する内部メモを出した後に、行われた。ウクライナは、2月現在で1700人以上のアフリカ人がロシアのために戦っていると推定しており、ケニア、ナイジェリア、その他の国から募集され、多くは雇用を約束する虚偽の誘い文句に騙されたものと主張している。

***ナイジェリアのニジェール州で武装集団が少なくとも20人を殺害し、村人を拉致：**ロイター通信によると、ナイジェリアのニジェール州のシロロ地区の複数の村が4月7日、武装集団に襲撃され、少なくとも20人が死亡、数名が拉致された。数時間にわたる暴力行為は地元治安部隊を圧倒し、家屋を破壊し、住民は近隣の町へ避難した。警察のワシウ・アビオドゥン報道官は、バグナ村とエレナ村への襲撃を確認したが、死者数は発表されたよりも少ないと推定している。

***北朝鮮が弾道ミサイルを海に向けて発射：**韓国合同参謀本部によると、北朝鮮は4月8日の朝、東海岸の元山地域から複数の短距離弾道ミサイルを発射し、数発は北朝鮮東部海域に向けて約240キロメートル飛行し、その後発射されたミサイルは700キロメートル以上を飛んだ。これは2日間で2度目のミサイル発射である。7日には平壤近郊からミサイル発射されたが、初期段階で異常な兆候が見られたので、失敗だと見られている。2度にわたる発射実験は、北朝鮮国営メディアが中国の王毅外相が9日から2日間平壤を訪問すると発表した直後に行われた。

***ウクライナとロシア、ドローン攻撃の応酬：**ロイター通信によると、ロシア軍のウクライナ南東部への攻撃で8人死亡、20人以上が負傷した。ウクライナはロシアがイースター停戦への期待を崩していると非難した。ウクライナ南部ヘルソン州の知事は、ロシアの攻撃で高齢者4人が死亡し、7人が負傷したと発表した。また、ロシアのドローンは8日夜、ウクライナ最大のドナウ川港イズマイルを攻撃し、港湾施設と船舶に被害を与えた。ウクライナ軍はロシアが実効支配するザポリージャ州の学校をドローン攻撃し、5人の子どもを含む6人が重傷を負ったと、同州のエフゲニー・バリッキー知事が発表した。